

鳥大医療 第16-1号
平成23年10月 4日

厚生労働大臣

殿

鳥取大学医学部附属病院
病院長 北野博

鳥取大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照（様式第10）
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照（様式第11）
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	13人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照（様式第12）
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照（様式第13）
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	296人	67人	348.2人	看護補助者	76人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	11人	5人	14.2人	理学療法士	12人	臨床検査技師	39人
薬剤師	26人	0人	26.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	躰その他	0人
助産師	36人	1人	37.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	585人	14人	596.0人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	10人
准看護師	1人	0人	1.0人	栄養士	0人	その他の技術員	16人
歯科衛生士	2人	1人	3.0人	歯科技工士	2人	事務職員	191人
管理栄養士	6人	0人	6.0人	診療放射線技師	34人	その他の職員	21人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	557.9人	12.2人	570.1人
1日当たり平均外来患者数	1,247.2人	67.3人	1,314.5人
1日当たり平均調剤数		916.7剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1. 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	0人
超音波骨折療法	0人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	3人
インプラント義歯	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法(これらを三週間に一回投与するものに限る。)並びにベバシズマブ静脈内投与(三週間に一回投与するものに限る。)による維持療法 再発卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当ありません		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	27人	・膿疱性乾癥	1人
・多発性硬化症	33人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・重症筋無力症	63人	・原発性胆汁性肝硬変	36人
・全身性エリテマトーデス	117人	・重症急性肺炎	5人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壞死症	15人
・再生不良性貧血	12人	・混合性結合組織病	26人
・サルコイドーシス	66人	・原発性免疫不全症候群	3人
・筋萎縮性側索硬化症	25人	・特発性間質性肺炎	24人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	105人	・網膜色素変性症	13人
・特発性血小板減少性紫斑病	32人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	24人	・肺動脈性肺高血圧症	5人
・潰瘍性大腸炎	47人	・神経線維腫症	20人
・大動脈炎症候群	16人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	13人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7人
・脊髄小脳変性症	29人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	21人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性閉節リウマチ	5人	・脊髄性筋委縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	193人	・球脊髄性筋委縮症	5人
		・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	7人
・アミロイドーシス	7人	・肥大型心筋症	2人
・後縦靭帯骨化症	58人	・拘束型心筋症	1人
・ハンチントン病	5人	・ミトコンドリア病	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	23人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	10人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	60人	・黄色靭帯骨化症	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オーラブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	19人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	45人
・表皮水胞症(接合部型及び栄養障害型)	0人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

⁵ 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<p>1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。</p> <p>2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</p>
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月1回程度
部 檢 の 状 況	部検症例数 24 例 / 部検率 4.30%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1. 研究費補助金等の実績(平成22年度)

	研究課題名	研究者名		金額(千円)	補助元又委託先
1	ゴーシニ病モデルマウスを用いたケミカルシャペロン療法の開発に関する研究	大野 耕策	脳神経小児科学	4,400	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
2	地域における軽症パーキンソン病患者の早期診断に関する検討	中島 健二	脳神経内科学	700	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
3	C型慢性肝疾患での肝発癌と細胞外マトリックス分解系の遺伝子多型との関連	村脇 義和	機能病態内科学	700	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
4	睡眠時無呼吸症候群による時計遺伝子障害に関する研究	鰐岡 直人	病態検査学	800	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
5	パーキンソン病におけるp62による蛋白sequestrationとオートファジー	中曾 一裕	統合分子医化学	800	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
6	統合失調症に対する認知矯正療法の治療研究	中込 和幸	精神行動医学	900	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
7	神経メラニン細胞密度とMRIの信号強度の相関:剖検脳と3TMRIによる検討	小川 敏英	医用放射線学	1,300	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
8	進行食道癌における放射線化学療法効果増強システムの開発	池口 正英	病態制御外科学	700	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
9	インターロイキン17産生Tリンパ球に着目した消化器癌の免疫および進展機構の解明	齊藤 博昭	病態制御外科学	1,200	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
10	虚弱高齢者における脆弱性骨折発生原因の解明と予防法の開発	萩野 浩	基礎看護学	700	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
11	軟骨下骨組織の健常化による関節疾患の予防・治療に関する研究	豊島 良太	運動器医学	500	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
12	腹臥位換気法の長期連続施行における適用限界の有無について	岡崎 直人	麻酔・集中治療医学	400	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
13	過活動膀胱は予防可能か?	齊藤 源頸	分子薬理学	1,200	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
14	子宮内膜症の増殖進展機構における細胞死の役割とその治療への応用に関する研究	原田 省	生殖機能医学	800	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
15	角膜ヘルペス治療における分子標的の解明	井上 幸次	視覚病態学	900	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
16	セツキシマブの肺癌治療における新しいバイオマーカーの開発	千鶴 浩樹	分子制御内科学	1,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
17	IGF-I受容体異常症の解明:新規変異遺伝子の探索と機能解析および表現型の検討	神崎 晋	周産期・小児医学	1,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
18	発達早期の社会的ストレスが辺縁系GABA性神経系機能に及ぼす影響に関する研究	兼子 幸一	精神行動医学	700	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
19	膠芽腫におけるEP4受容体阻害剤の腫瘍抑制効果の検討	渡辺 高志	脳神経外科学	800	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
20	子宮内膜症組織培養系の確立と月経血の抗原性による子宮内膜症発症機序の解明	岩部 富夫	生殖機能医学	800	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1. 研究費補助金等の実績(平成22年度)

	研究課題名	研究者名		金額(千円)	補助元又委託先
21	ビスホスホネートによる頸骨壊死の予測マーカーならびに発症メカニズムに関する検討	領家 和男	口腔顔面病態外科学	1,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
22	Srcを標的分子とした小細胞肺癌の治療を開発するための実験的研究	井岸 正	分子制御内科学	1,100	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
23	脳梗塞罹患後定期における健康寿命阻害因子の分析と予防法構築のための研究	古和 久典	脳神経内科学	1,400	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
24	ADCC活性制御による胸膜中皮腫の新しい治療法の開発	清水 英治	分子制御内科学	1,600	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
25	アルツハイマー病における糖タンパクの糖鎖異常の解析	浦上 克哉	生体制御学	1,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
26	小児期発症メタボリック症候群における新たな疾患感受性遺伝子の探索	花木 啓一	母性・小児家族看護学	1,300	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
27	急性肺障害に対する生体内高エネルギー炭酸化物のホスホエノールピルビン酸の投与効果	大嶋 嘉明	麻酔・集中治療医学	1,300	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
28	非生毛部に生じた悪性黒色腫に対する表皮基底面の走査型電子顕微鏡学的観察	吉田 雄一	皮膚病態学	600	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
29	マイクロバブルを用いたドラッグデリバリーの開発	神納 敏夫	医用放射線学	800	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
30	緑膿菌の抗菌薬耐性に関わる外膜蛋白質変異の迅速検査法の開発とサーベイランスの実践	堀井 俊伸	感染制御部	900	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
31	筋萎縮性側索硬化症の病態解明および骨髓間質細胞移植による治療効果の検討	北山 通朗	神経内科	900	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
32	耐性遺伝子を用いた上皮性卵巢癌抗癌剤感受性試験の試み	浪花 潤	小児科	1,300	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
33	呼吸窮迫症候群の新しい治療法の研究—サリドマイドの肺血管新生戦略の検討	船越 多恵	麻酔科	2,200	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
34	インスリン抵抗性からみた拡張障害心不全の新たな治療法の開発	荻野 和秀	卒後臨床研修センター	600	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
35	咽喉頭における温度受容の組織学的検討	三宅 成智	耳鼻科	1,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
36	薬用ハーブパルテノライドによる子宮内膜症細胞増殖抑制に関する基礎研究	谷口 文紀	女性診療科群	1,100	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
37	炎症制御を主眼とした難治性角結膜疾患の器官再生の病態探索と分子治療法の開発	宮崎 大	眼科	1,000	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
38	FALSにおけるプロテアソーム機能低下に伴うSOD過剰発現の機構解明と治療	安井 建一	神経内科	800	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
39	呼吸器疾患における時計遺伝子発現の分子生物学的機能解析	服岡 泰司	第三内科診療科群	1,100	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
40	イオンチャネルの遺伝子多型とゲノム刷り込み現象が全身麻酔薬の効果に及ぼす影響	大塊 明広	がんセンター	700	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1. 研究費補助金等の実績(平成22年度)

	研究課題名	研究者名		金額(千円)	補助元又委託先
41	地域における軽度パーキンソン症候の疫学的検討	植村 佑介	神経内科	2,200	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
42	卵巢粘液性腺癌の細胞生物学的特性の解明と抗癌剤耐性克服の試み	佐藤 慎也	女性診療科群	1,300	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
43	内リンパ囊におけるバゾプレッシンーアクアボリン2水代謝機構に関する総合的研究	田口 大蔵	耳鼻科	1,600	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
44	N α アセチル基転移酵素標的蛋白質の同定とアセチローム制御による新規治療法の開発	田窪 千子	歯科口腔外科	1,500	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
45	成長におけるIGF-I作用の新たな役割:ALSおよびIGF-I受容体の機能解析	鞍嶋 有紀	小児科	2,500	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
46	酸性グルコセレブロシダーゼによるスフィンゴ脂質シグナルの制御	北谷 和之	検査部	1,100	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
47	レチノイン酸応答性の新規機能性RNAの同定による肝細胞癌の診療への応用	汐田 剛史	遺伝子医療学	2,200	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
48	チャンネル遺伝子を用いた胚性幹細胞由来バイオベースメーカーの確立と治療への応用	久留 一郎	再生医療学	700	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
49	発達障害児における行動障害に関する有効なコンサルテーションシステムの開発	井上雅彦	臨床心理学	1,100	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
50	皮下脂肪由来再生細胞の血管再生治療臨床応用へ向けた基本的情報の検討	山本 康孝	再生医療学	1,300	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
51	認知症スクリーニング検査の開発	竹田 伸也	臨床心理学	700	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
52	ロールレタリングの内容評定チェックリストの作成と活用	金子 周平	臨床心理学	1,000	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
53	呼吸器疾患における時計遺伝子発現の分子生物学的機能解析	服岡 泰司	第三内科診療科群 <縦越分>	300	(補) 文部科学省 委 科学研究費補助金
54	膠芽腫におけるEP4受容体阻害剤の腫瘍抑制効果の検討	渡辺 高志	脳神経外科学 <縦越分>	349	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
55	腹臥位換気法の長期連続施行における適用限界の有無について	岡崎 直人	麻酔・集中治療医学 <縦越分>	450	(補) 日本学術振興会 委 科学研究費補助金

合計55

(注 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なもの)を記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Indian J Surg, 72(6):453-457, 2010	Nutritional Assessment of Patients After Pylorus-Preserving Gastrectomy for Early Gastric Cancer.	Ikeguchi Mほか	第一外科
ONCOLOGY LETTERS, DOI:10.3892/o..254, 2: 319-322, 2011	Fucoidan reduces the toxicities of chemotherapy for patients with unresectable advanced or recurrent colorectal cancer.	Ikeguchi Mほか	第一外科
Langenbecks Arch Surg, DOI 10.1007/s00423-011-0779-6, 2011	A new pouch reconstruction method after total gastrectomy (pouch-double tract method) improved the postoperative quality of life of patients with gastric cancer.	Ikeguchi Mほか	第一外科
臨床病理, 58:319-324, 2010	慢性肝疾患における超音波real-time tissue elastography の有用性の検討	森下獎太ほか	第一外科
外科治療, 102:533-539, 2010	縫合・吻合法の実際-胃切除後の再建術- 胃・胃吻合	福田健治ほか	第一外科
米子医学雑誌, 61:59-66, 2010	肝細胞癌・B型肝硬変に対し生体部分肝移植手術を施行した1例	遠藤財範ほか	第一外科
米子医学雑誌, 61:111-121, 2010	大腸がん術後患者の排便に関する意識と行動の変容プロセス	藤原尚子ほか	第一外科
J Surg Oncol, 101:622-625, 2010	Prognostic indicators in node-negative advanced gastric cancer patients.	Saito Hほか	第一外科
癌と化学療法, 38:109-112, 2011	GEM+S-1併用療法によってCRが得られた肺癌術後肝転移再発の1例	畠田智子ほか	第一外科
外科, 73: 353-358, 2011	はじめての手術手技-どのように教えるか 3. 胃全摘術	齊藤博昭ほか	第一外科
J oral Pathol Med, 2010	Minichromosome maintenance-7 and geminin are reliable prognostic markers in patients with oral squamous cell carcinoma : immunohistochemical study.	Takayuki Tamura	歯科口腔外科
Ovarian Cancer Brief Seminar, 2010	再発卵巣がんに対する化学療法 ～ドキシルによる口内炎の対策～	田窪千子	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌, 2010	迷入した魚骨を核として形成された耳下腺管内唾石の1例	木谷憲典	歯科口腔外科
デンタルダイアモンド社こんな事故が起こったらボケットブック トラブルVSリカバリー, 2010	抜歯ができない、中断した抜歯時、周囲軟組織を傷つけてしまった	領家和男	歯科口腔外科
Yonago Acta medica, 2010	Tubular-Trabecular Type Basal Cell Adenoma of the Parotid Gland:A Patient Report.	Motoki Nakabayashi	歯科口腔外科
メデカルフレンド社看護技術, 2011	第2特集 がん化学療法患者への口腔ケア 1. がん化学療法患者の口腔アセスメント	田窪千子	歯科口腔外科
メデカルフレンド社看護技術, 2011	第2特集 がん化学療法患者への口腔ケア 1. がん化学療法における口腔ケアの効果	田部有子	歯科口腔外科
医学情報社よくわかる歯科医学・口腔ケア, 2011	歯性感染症-1 頸骨周囲炎	領家和男	歯科口腔外科
Invest Ophthalmol Vis Sci, 51(5):2441-2449, 2010	Induction of IL-6 in transcriptional networks in corneal epithelial cells after herpes simplex virus type 1	Miyazaki Dほか	眼科
あたらしい眼科, 27(6):845-849, 2010	網膜下に遊走滲出塊を伴った特異なUveal Effusionの1例	佐々木慎一ほか	眼科
臨眼, 64(6):929-932, 2010	多指症を合併した重症の先天性角膜ぶどう腫の1例	春木智子ほか	眼科
あたらしい眼科, 27(6):805-808, 2010	細菌性角膜炎からアカントアーベー角膜炎に移行したと考えられる1例	大谷史江ほか	眼科
日眼会誌, 115(2):107-115, 2011	重症コンタクトレンズ関連角膜感染症全国調査	井上幸次ほか	眼科
眼科臨床紀要, 4(2):165-168, 2011	動眼神經麻痺による上斜視に用いた水平筋全幅運動術	石倉涼子ほか	眼科
Respirology, 15:495-500, 2010	"Lung age" predict post-operative complications and survival in lung cancer patients.	Haruki T	胸部外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg, 58:287-90, 2010	Pulmonary mucinous cystadenoma:a rare benign tumor of the lung.	Haruki T	胸部外科
日本呼吸器学会雑誌, 48:573-9, 2010	肺年齢は肺癌患者の術後合併症と予後を予測する	春木朋広	胸部外科
Thorac Cardiovasc Surg, 58:304-6, 2010	A case of G-CSF-producing invasive apical cancer resected following preoperative adjuvant therapy.	Takagi Y	胸部外科
Surgery Today, 40:1155-8, 2010	Spontaneous regression of lung adenocarcinoma: Report of a case.	Haruki T	胸部外科
Yonago Acta Medica, 53:77-81, 2010	Thoracoscopic resections of bronchogenic cysts arising in the posterior mediastinum: Report of 3 patients.	Kubouchi Y	胸部外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg, 59:133-6, 2011	Thoracoscopic resection of a thoracic duct cyst that developed during the follow-up for a thymic cyst.	Taniguchi Y	胸部外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg, 59:212-5, 2011	Sister Mary Joseph's nodule originated from lung adenocarcinoma.	Haruki T	胸部外科
Lung Cancer, 71:356-62, 2011	Geminin expression in small lung adenocarcinomas: Implication of prognostic significance.	Haruki T	胸部外科
Nanotoxicology, 4 (3) : 296-306, 2010	In vivo effect of industrial titanium dioxide nanoparticles experimentally exposed to hairless rat skin.	Adechi K.	皮膚科
Acta Derm Venereol, 90 (4) : 441-442, 2010	Procalcitonin as a biomarker for toxic shock syndrome.	Kato M.	皮膚科
Dermatol Surg, 36 (11) : 1779-1781, 2010	Mixed cell granulomatous panniculitis on the cheek due to injection of a solution containing phosphatidylcholine and deoxycholate.	Kato M.	皮膚科
Acta Derm Venereol, 90 (5) :519-520, 2010	Primary cutaneous aspergillosis.	Nakashima K.	皮膚科
Eur J Dermatol, 20 (6) : 859-860, 2010	Nevus lipomatous cutaneous superficialis of the vulva.	Nakashima K.	皮膚科
Recent Pat Inflamm Allergy Drug Discov, 4 (3) : 249-254, 2010	Regulatory T cells and skin tumors.	Shindo M.	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Med Mycol, 48 (4) : 643-646, 2010	A case of cutaneous protothecosis successfully treated with local thermal therapy as an adjunct to itraconazole therapy in an immunocompromised host.	Yamada N.	皮膚科
Acta Derm Venereol, 90(3):235-238, 2010	Identification of a Major Yolk Protein as an Allergen in Sea Urchin Roe.	Yamashiki A.	皮膚科
Yonago Acta Med, 53 (2) : 37-45, 2010	Clinical effects of probiotic <i>Bifidobacterium breve</i> supplementation in adult patients with atopic dermatitis.	Yoshida Y.	皮膚科
Dermatol Surg, 36 (11) : 1773-1774, 2010	Ultrasonic dissection for diffuse plexiform neurofibroma.	Yoshida Y.	皮膚科
Acta Derm Venereol, 90 (6) : 637-639, 2010	Local mast cell histamine and plasma histamine levels in neurofibromatosis type 1.	Yoshida Y.	皮膚科
Clin Exp Dermatol, 35 (6) : 681-682, 2010	Multiple subcutaneous hard nodules.	Watanabe T.	皮膚科
J Cutan Pathol, 37 (10) : 1116-1118, 2010	Granulomas induced by subcutaneous injection of a luteinizing hormone releasing hormone analog: a case report and review of the literature.	Watanabe T.	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol, 24 (9) : 1120-1121, 2010	Reply.	Watanabe T.	皮膚科
Dermatol Surg, 36 (9) : 1491-1492, 2010	Cutaneous metastasis of squamous cell carcinoma of oral mucosa with a purpura-like appearance with tumor thrombosis in lymphatic vessels.	Watanabe T.	皮膚科
Eur J Dermatol, 20 (3) : 414-415, 2010	Differential diagnosis of pearly penile papules and penile condyloma acuminatum by dermoscopy.	Watanabe T.	皮膚科
Eur J Dermatol, 20 (6) : 809-810, 2010	Buruli ulcer caused by " <i>Mycobacterium ulcerans</i> subsp. <i>Shinshuense</i> ".	Watanabe T.	皮膚科
Pharmacology, 87(3-4) : 152-154, 2011	Olopatadine Hydrochloride Inhibits Capsaicin-Induced Flare Response in Humans.	Shindo M.	皮膚科
Cardiovasc Intervent Radiol, 33:143-149, 2010	Percutaneous radiofrequency lung ablation combined with transbronchial saline injection: an experimental study in	Kawai Tほか	放射線科
Am J Neuroradiol AJNR, 31:55-59, 2010	Demonstration of cerebral venous variations in the region of the third ventricle on phase-sensitive imaging.	Fujii Sほか	放射線科
Neuroradiology, 52:297-306, 2010	Distinction between glioma progression and post-radiation change by combined physiologic MR imaging.	Matsusue Eほか	放射線科
Neuroradiology, 52:1037-1045, 2010	The ability to identify the intraparotid facial nerve for localizing parotid gland lesions in comparison to other indirect landmark methods: evaluation by 3.0 T MR imaging with surface coils.	Ishibashi Mほか	放射線科
Endocrinology, 151 (6) : 2826-2834, 2010	Insufficient Luteinizing Hormone-Induced Intracellular Signaling Disrupts Ovulation in Preovulatory Follicles Lacking Estrogen Receptor- β .	F. Taniguchi	女性診療科
World J Biol Chem, 1(7) : 209-220, 2010	Targeted therapies in epithelial ovarian cancer: Molecular mechanisms of action.	H. Itamochi	女性診療科
Int. J. Clin. Oncol, 16(2) : 141-144, 2010	Questionnaire survey of the current status of radical trachelectomy in Japan.	S. Sato	女性診療科
J Ultrasound Med, 30() : 529-545, 2011	The importance of venous doppler velocimetry for evaluation of intrauterine growth restriction.	T. Harada	女性診療科
Fertil. Steril, 95() : 1518-1521, 2011	Apigenin inhibits tumor necrosis factor α -induced cell proliferation and prostaglandin E2 synthesis by inactivating NF κ B in endometriotic stromal cells.	K. Suou	女性診療科
Front Biosci, 648-662, 2011	Apoptosis and endometriosis.	F. Taniguchi	女性診療科
Fertil. Steril, 95(1) : 33-39, 2011	Demethylation of a nonpromotor cytosine-phosphate-guanine island in the aromatase gene may cause the aberrant up-regulation in endometriotic tissues.	T. Harada	女性診療科
Circ Heart Fail, 3:73-81, 2010	Uric acid-lowering treatment with benz bromarone in patients with heart failure: a double-blind placebo-controlled crossover preliminary study.	Kato M	第一内科
Stud Health Technol Inform, 156:65-70, 2010	Metaboli-Net: online groupware system providing counseling guidance for patients with metabolic syndrome.	Yamamoto N	第一内科
The electronic Journal of Health Informatics (in press, 2010)	System design of web-based patient education tool, Metaboli-Net, for prevention of lifestyle-related	Yamamoto N	第一内科
Arzneimittelforschung (Drug Research), 60:71-75, 2010	Effects of a low-dose antihypertensive diuretic in combination with losartan, telmisartan, or candesartan on serum urate levels in hypertensive patients.	Kato M	第一内科
Eur J Pharmacol, 627:223-228, 2010	The cyclooxygenase-2 selective inhibitor, etodolac, but not aspirin reduces neovascularization in a murine ischemic hind limb model.	Kato M	第一内科
Arzneimittelforschung, 60:186-188, 2010	Effect of losartan and benz bromarone on the level of human urate transporter 1 mRNA.	Yamada K	第一内科
Circ J, 74:2346-2352, 2010	The addition of losartan to angiotensin converting enzyme inhibitors improves insulin resistance in patients with chronic heart failure treated without β -blockers.	Kato M	第一内科
Hepatol Res, 40:594-604, 2010	Genetic analysis of expression profile involved in retinoid metabolism in non-alcoholic fatty liver disease.	Hoshikawa Y	第一内科
Hepatol Res, 40:711-719, 2010	Hepatocyte growth factor mobilizes and recruits hematopoietic progenitor cells into liver through a stem cell factor-mediated mechanism.	Hisatome I	第一内科
Am J Physiol (Heart CircPhysiol), 298:H1748-H1760, 2010	Roles of hyperpolarization-activated current If in sinoatrial node pacemaking: insights from bifurcation analysis of mathematical models.	Hisatome I	第一内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pacing ClinElectrophysiol, 33:290-303, 2010	Identification, isolation and characterization of HCN4-positive pacemaking cells derived from murine embryonic stem cells during cardiac differentiation.	Miake J	第一内科
Biomed Res, 31:301-305, 2010	Different distribution of Cav3.2 and Cav3.1 transcripts encoding T-type Ca ²⁺ channels in the embryonic heart of	Miake J	第一内科
Hepatol Res, 40:1227-1238, 2010	Iron state in association with retinoid metabolism in non-alcoholic fatty liver disease.	Hoshikawa Y	第一内科
Am J Mol Cell Cardiol, 49:312-321, 2010	Isolation and expansion of functionally-competent cardiac progenitor cells directly from heart biopsies.	Miake J	第一内科
Circ Res published online Dec, 23, 2010; DOI:10.1161/CIRCRESAHA.110.227835	Reciprocal Control of hERG Stability by Hsp70 and Hsc70 with Implication for Restoration of LQT2 Mutant Stability.	Miake J	第一内科
Endoscopy, 64:319-326, 2010	Ruptured pseudoaneurysm of the splenic artery complicating endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration biopsy for pancreatic cancer.	Matsumoto Kほか	第二内科
Clin J Gastroenterol, 3:6-12, 2010	Premalignant lesions in gastric cancer.	Yashima Kほか	第二内科
Intern Med, 49:887-895, 2010	The genotype of IL-1 beta and MMP-3 are associated with the prognosis of HCV-related hepatocellular carcinoma.	Okamoto Kほか	第二内科
Oncol Let, 2:217-222, 2011	Clinicopathological and patient characteristics of early gastric neoplasia endoscopically resected with loss of Mlh1 expression.	Yashima K,	第二内科
Intern Med, 50(2):135-9, 2011	Bronchial Artery Embolization before Interventional Bronchoscopy to Avoid Uncontrollable Bleeding: A Case Report of Endobronchial Metastasis of Renal Cell Carcinoma.	陶山久司	第三内科
World J Gastrointest Oncol, Oct 15;2(10):395-8, 2010	Gastric metastasis by primary lung adenocarcinoma.	岡崎亮太	第三内科
Parkinsonism and Related Disorders, 2010	Relationship between 123I-MIEG scintigrams and REM sleep behavior disorder in Parkinson's disease.	Nomura Tほか	神経内科
Jpn J Endourol ESWL, 23(1):95-98, 2010	体腔鏡下腎盂形成術における順行性尿管ステント留置法	磯山忠広ほか	泌尿器科
西日本泌尿器科, 72 (7) :376-383, 2010	80歳以上の超高齢者浸潤性膀胱癌に対する外科的治療	武中篤ほか	泌尿器科
Urol Oncol, 2010 Mar-Apr;28(2):145-51, 2010	Expression of potential molecular markers in prostate cancer: correlation with clinicopathological outcomes in patients undergoing radical prostatectomy.	Takenaka Tほか	泌尿器科
BJU Int, 2010 Jun;105(11):1514-8, 2010	Characterization of the anatomical extension pattern of localized prostate cancer arising in the peripheral zone.	Takenaka Tほか	泌尿器科
Int J Urol, 2010 Jun;17(6):522-6, 2010	Impact of body mass index on perioperative outcomes of laparoscopic radical nephrectomy in Japanese patients with clinically localized renal cell carcinoma.	Takenaka Tほか	泌尿器科
BJU Int, 2010 Aug;106(3):412-6, 2010	Orthotopic sigmoid neobladder after radical cystectomy: assessment of complications, functional outcomes and quality of life in 82 Japanese patients.	Takenaka Tほか	泌尿器科
BJU Int, 2010 Aug;106(4):528-36, 2010	Visual cues as a surrogate for tactile feedback during robotic-assisted laparoscopic prostatectomy: posterolateral margin rates in 1340 consecutive patients.	Takenaka Tほか	泌尿器科
Urol Oncol, 2010 Sep-Oct; 28(5):515-9, 2010	Abnormalities of thyroid function in Japanese patients with metastatic renal cell carcinoma treated with sorafenib: a prospective evaluation.	Takenaka Tほか	泌尿器科
Urol Oncol, 2010 Jan 5. [Epub ahead of print], 2010	Orthotopic bladder substitution following radical cystectomy in women: Comparative study between sigmoid and ileal neobladders.	Takenaka Tほか	泌尿器科
BJU Int, 2010 Dec;106(11), 1643-7, 2010	Impact of sorafenib on health-related quality of life in Japanese patients with metastatic renal cell carcinoma: a prospective evaluation.	Takenaka Tほか	泌尿器科
Int J Urol, 2010 Oct;17 (10):881-5, 2010	Salvage chemotherapy with methotrexate, etoposide and actinomycin D in men with metastatic nonseminomatous germ cell tumors with a choriocarcinoma component: A preliminary	Takenaka Tほか	泌尿器科
Int Urol Nephrol, 2010 Oct 30. [Epub ahead of print], 2010	Assessment of long-term quality of life in patients with orthotopic neobladder followed for more than 5 years.	Takenaka Tほか	泌尿器科
Prostate, 2011 Feb 9. [Epub ahead of print], 2011	Distribution of the lymphatic vessels in the prostatic fascia	Takenaka Tほか	泌尿器科
Int J Impotence Research, 2011 Mar 10. [Epub ahead of print]	Classification of the distribution of cavernous nerve fibers around the prostate by intraoperative electrical stimulation during laparoscopic radical prostatectomy	Takenaka Aほか	泌尿器科
Curr Opin Urol, 2011 Jan;21(1):49-59, 2011	Neuroanatomic basis for traction-free preservation of the neural hammock during athermal robotic radical	Takenaka Tほか	泌尿器科
医学検査, 9, 2010	ワーフアリン投与患者における血清中低カルボキシル化オストカルシン(ucOC)値の検討	室田博美	検査部
Yonago Acta medica, 53:47-52 June, 2010	Follow-up Results of Sentinel Lymph Node Biopsy using the One-Only Method for Breast Cancer	Kiyosuke Ishiguro	第二外科
Surgery Today, 40(10):990-996 Oct, 2010	Pheochromocytoma multisystem crisis successfully treated by emergency surgery: Report of a case	Kiyosuke Ishiguro	第二外科
Yonago Acta medica, 53:71-75 December, 2010	ACTH-Producing Breast Cancer:A Patient Report	Kiyosuke Ishiguro	第二外科
米子医学雑誌, 62巻第1号:52-59 1月, 2010	心筋梗塞後心不全に対する平滑筋細胞シートの効果に関する実験的研究	原田真吾	第二外科
Clinical Engineering. 秀潤社. 許 優 銳 編集責任者, 21(6):557-561 5月, 2010	DuraHeartを用いた治療	西村元延	第二外科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery, 58(4):186-189 April, 2010	Giant right coronary artery aneurysm complicated by acute myocardial infarction:Invited commentary.	西村元延ほか	第二外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本マイクロサージャリー学会会誌 23巻3号311-315 2010	耳介動静脈奇形硬化療法後の耳介壊死に対し前腕皮弁により耳介再建した1例	陶山淑子ほか	形成外科
形成外科の治療指針update 53号S35-36,2010	脂肪腫	陶山淑子ほか	形成外科
形成外科の治療指針update 53号 S37,2010	石灰化上皮腫	中山敏ほか	形成外科
耳鼻咽喉科臨床, 103: 11 1057-1061, 2010	DIPP-Motion Pro 2Dを用いた嚥下動態の解析	藤原和典ほか	形成外科
耳鼻咽喉科展望, 第53巻5号, 2010年10月	術後性顔面神経麻痺を発症した真珠腫症例	長谷川賀作ほか	形成外科
Brain Dev 32(10):805-9, 2010	The effect of N-octyl-β-valienamine on β-glucosidase activity in tissues of normal mice.	Luan Z	脳神経小児科
ChemBioChem 11(17):2453-64, 2010	A fluorescent SP2-iminosugar with pharmacological chaperone activity for Gaucher disease: Cellular uptake and intracellular distribution studies.	Luan Z	脳神経小児科
Mol Genet Metab 101(4) : 364-369, 2010	Chemical chaperone therapy: Luciferase assay for screening of b-galactosidase mutations.	Li L	脳神経小児科
標準小児科学 第7版:232-236, 2010	第10章 内分泌疾患C. 甲状腺疾患	神崎晋	小児科
遺伝性肝疾患:132-136, 2010	体質性黄疸(Dubin-Johnson症候群)	長田郁夫	小児科
遺伝性肝疾患:205-211, 2010	MPV17遺伝子異常によるHepatic Mitochondrial DNA Depletion syndromeの一兄弟例	村上潤	小児科
周産期医学 40(増刊):610-613, 2010	【周産期診療指針2010】 新生児編 ハイリスク児の管理感染症 母体からの新生児 肝炎ウイルス	長田郁夫	小児科
今日の治療指針 TODAY'S THERAPY 2011;1207-1208, 2011	23. 小児疾患 先天性甲状腺機能低下症(クレチン症)	神崎晋	小児科
今日の治療指針 TODAY'S THERAPY 2011;1139-1140, 2011	22. 新生児の低血糖	長田郁夫	小児科
小児臨床栄養学:2-5, 2011	第1章 成長・発達 A身体発育	神崎晋	小児科
母子感染:308-313, 2011	肝炎ウイルスの母子感染(小児科の立場から)	長田郁夫	小児科
Hepatol Res 40(4):295-303, 2010	Histological findings in the livers of patients with neonatal intrahepatic cholestasis caused by citrin	Nagata I	小児科
Hepatol Res 40(9):878-86, 2010	Epidemiological survey of Japanese children infected with hepatitis B and C viruses.	Murakami J	小児科
Biomedical Research 31(4):219-230, 2010	Effects of cyclohexenonic long-chain fatty alcohol in type2 diabetic rat nephropathy.	Shinichi Okada	小児科
Hepatology Research 41(5):339-404, 2011	Efficacy of pegylated interferon-2a monotherapy in Japanese children with chronic hepatitis C.	Ikuo Nagata	小児科
日本成長学会雑誌 16(1):23-29, 2010	成長ホルモンの分泌不全生低身長症における成長ホルモンによる前思春期の治療開始年齢別治療効果	神崎晋	小児科
日本未熟児新生児学会雑誌 22(2):13-17, 2010	シンポジウム NICUにおける母乳育児支援一母乳育児を継続しながら退院を迎えるようにー	長田郁夫	小児科
小児保健研究 69(3):373-379, 2010	胎児期・新生児期の体重増加量と周産期指標の関連	神崎晋	小児科
日本小児血液学会雑誌 24(3):144-149, 2010	非血縁者間臍帯血移植で救命した治療抵抗性ランゲルハンス細胞組織症の乳児例	橋田祐一郎	小児科
Progress in Medicine 30(7):1852-1857, 2010	シクロスボリンが有効であった難知性川崎病の2歳男児例	北本晃一	小児科
成長科学協会研究年報 33:35-45, 2010	低身長児の心理的侧面 新しい対面式身長イメージ評価尺度の開発	神崎晋	小児科
小児科臨床別冊 64(2):242-248, 2011	先天性気管狭窄症の3例の臨床的検討	船田裕昭	小児科
小児科 52(1):35-41, 2011	小児の肝疾患up to date 5 非アルコール性脂肪性肝障害	長田郁夫	小児科
小児科 52(1):43-52, 2011	小児の肝疾患up to date 6 小児の急性肝不全	長田郁夫	小児科
小児科診療2011年増刊号:70-76, 2011	低血糖	西村玲	小児科
小児科診療2011年増刊号:105-118, 2011	黄疸	堂本友恒	小児科
日本臨床 69(増刊4):122-127, 2011	C型肝炎ウイルス母子感染および家庭内感染とその予防対策	村上潤	小児科
小児科診療 73(増刊):605-609, 2010	急性肺炎、慢性肺炎	村上潤	小児科
小児科臨床 63(4):845-851, 2010	フローチャートでみる私の処方 IV. 内分泌疾患の処方思春期早発症・遲発症	神崎晋	小児科
小児内科 42(4):587-591, 2010	奇形症候群と低身長ーPrader-Willi症候群とNoonan症候群を中心にしてー	宮原直樹	小児科
癌と化学療法 37(4):617-619, 2010	卵巢がん治療ガイドラインの検証と改定(2010年版)	紀川純三	がんセンター
日本高齢消化器病学会誌 12(2):121-126, 2010	高齢者進行肝細胞癌に対する肝動注化学療法 Quality of Life(QOL)との関連	大山賢治	がんセンター
日本の治療指針2010 52:1028-1029, 2010	卵巢腫瘍(良性、境界悪性、悪性)	紀川純三	がんセンター
HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY	血管新生阻害薬による婦人科癌治療の展望	紀川純三	がんセンター
産婦人科の実際 59(11):1892-1895, 2010	子宮頸部上皮内腫瘍(CIN)	紀川純三	がんセンター
肝臓 51(11):620-627, 2010	異性間性交渉を契機に感染したアメーバ性肝腫瘍の2例	大山賢治	がんセンター
医療ジャーナル【新薬展望2011】 47(増刊):392-398, 2011	治療における最近の新薬の位置付け(薬効別) 新薬の広場 婦人科癌治療薬	紀川純三	がんセンター
産科と婦人科 78(1):108-114, 2011	分子標的治療	紀川純三	がんセンター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurol Res 32:429-437, 2010	A gene delivery system with a human artificial chromosome vector based on migration of mesenchymal stem cells towards human glioblastoma HTB14c cells.	Kinoshita Y	脳神経外科
Neurol Res 32:614-619, 2010	Application of phase sensitive imaging (PSI) for hemorrhage diagnosis in pituitary adenomas.	Kurosaki M	脳神経外科
月刊 精神科, 2010	思春期になり自己視線恐怖を呈した高機能広汎性発達障害の1症例	佐竹隆宏	精神科
EBM 精神疾患の治療, 2011	カンナビノイドで精神症状が誘発される個人は統合失调症脆弱性が高いか?	兼子幸一	精神科
精神医学, 2011	内発的動機付けの役割に焦点化した認知機能リハビリテーション	最上多美子	精神科
Neuroscience Research, 2011	Multi-channel near-infrared spectroscopy study of prefrontal cortex activation during working memory task in major depressive disorder.	Pu S	精神科

合計155

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、

高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 北野 博也
管理担当者氏名	総務課長 菅原 秀倫、学務・研究課長 山根 茂雄、 医療サービス課長 田邊 鉄太郎

		保管場所	管 理 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	総務課 医療情報部 薬剤部 各診療科	外来カルテ、入院カルテは電子カルテにて中央管理 紙媒体によるものはスキャンにて電子保存 電子化されているものは電子カルテ管理（1患者1カルテ） エックス線写真は電子カルテにて中央管理（一部フィルムにて各診療科保管） 病院日誌は、紙ベースにて日付順に保存	
病院の管理及び運営に関する諸記録 従業者数を明らかにする帳簿 高度の医療の提供の実績 高度の医療技術の開発及び評価の実績 高度の医療の研修の実績 閲覧実績 紹介患者に対する医療提供の実績 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	従業者数を明らかにする帳簿 高度の医療の提供の実績 高度の医療技術の開発及び評価の実績 高度の医療の研修の実績 閲覧実績 紹介患者に対する医療提供の実績 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課 医療サービス課 学務・研究課 総務課 医療サービス課 総務課 医療サービス課 医療サービス課 医療サービス課 薬剤部	
第規 一則 号第 に一 掲条 げの る十 体一 制第 の一 確項 保各 の号 状及 況び 第九	医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部 医療サービス課 医療安全管理部 医療安全管理部 総務課	

条の二十三第一項	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課及び医療サービス課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課

病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の	保管場所	分類方法
	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部	
	院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部	
	医薬品の使用に係る安全な管理の責任者の配置状況	総務課	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部	
	医療機器の安全使用の責任者の配置状況	総務課	
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター 医療安全管理部	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター	

状況	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	MEセンター 医療安全管理部
----	---------------------------------------------------------	-------------------

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	北野 博也（病院長）
閲覧担当者氏名	菅原 秀倫（総務課長）田邊 鉄太郎（医療サービス課）
閲覧の求めに応じる場所	閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	医 師 延 0 件
	歯 科 医 師 延 0 件
	国 延 0 件
	地 方 公 共 团 体 延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	8 8 . 4 %	算 定 期 間	平成22年 4月 1日～平成23年 3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			1 1 , 1 0 9 人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			8 , 1 0 2 人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			1 , 9 7 4 人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			1 5 , 8 6 3 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 安全管理に関する基本的な考え方(2) 安全管理のための組織に関する基本的事項(3) 医療安全管理のための医療従事者に対する研修に関する基本方針(4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策に関する基本方針(5) 医療事故発生時の対応に関する基本方針(6) 本院における医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(7) 患者からの相談への対応に関する基本方針(8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療に係る安全管理の体制の確保及び推進を図り、医療事故及び医療行為に基づく医事紛争に対する防止策等について審議する。(審議事項)<ul style="list-style-type: none">・ 医療に係る安全管理のための指針の策定・整備に関すること。・ 医療に係る安全管理のための教育・研修の企画・立案に関すること。・ 医療に係る安全確保を目的とした改善の方策に関すること。・ 医療事故及び医事紛争を防止するために必要な啓発及び対策に関すること。・ 医療事故等発生時の対応、事実確認並びに医療安全の確保及び医療事故の再発防止に関し、病院長から命を受けたこと。・ その他医療に係る安全管理体制の確保及び推進に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年61回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 新採用者研修、リスクマネジメント・ 安全対策の基本 医療安全管理・ 病院情報システム操作研修・ 静脈注射院内認定看護師養成研修 リスクマネジメントの立場から・ 医療安全への取り組み報告研修会・ 医療機器取り扱い研修会・ 「せん妄」を中心とした病棟でのリスク管理対策・ 麻薬管理の現状と対策・ 医療現場における最近の重要課題・ ヒューマンファクター工学に基づく医療におけるヒューマンエラーとその対策・ BLS研修会・ JVAC研修会・ DVDを用いた医療安全研修会 等	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

・ 問題点の把握状況

GRM 2名及び、医療安全担当副師長で、報告書を基に事故の種類、報告者職種、患者への影響度及び発生時間帯等を集計し、医療現場で発生する問題点を把握し、週1回カンファレンスを行い検討している。

また、日々の報告書提出時現場で、現場担当のリスクマネジメント担当者と検証を行い原因・誘因を抽出し対策をこうじている。

・ 問題点の分析状況

GRMが上記問題点の集計結果を調査・分析し改善策を作成する。

・ 分析・改善策(案)作成のための小委員会等の設置

リスクマネジメント専門委員会を設置している。

・ 改善策の立案部門及び決定部門

上記委員会において作成した改善策を検討し、医療事故防止等対策委員会に報告し更に検討して決定する。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況

有(1名)・無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況

有(1名)・無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況

有・無

- ・ 所属職員： 専任(1名) 兼任(8名)
- ・ 活動の主な内容：

- ・ 医療事故防止等対策委員会の運営並びに記録等の作成及び保管に関する事。
- ・ 医療事故に関する診療録、看護記録等への記載が正確かつ十分なされていることの確認を行うとともに必要な指導を行うこと。
- ・ 患者家族への説明など事故発生時の対応について確認を行うとともに必要な指導を行うこと。
- ・ 医療事故の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに必要な指導を行うこと。
- ・ 医療安全に係る連絡調整に関する事。
- ・ その他医療安全対策の推進に関する事。

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

有・無

(様式第13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に関する基本的考え方2. 感染管理組織に関する基本的事項3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針6. 患者等に対する「病院感染対策のためのマニュアル」の閲覧に関する基本方針7. 院内感染対策推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<p>以下の事項について審議する</p><ol style="list-style-type: none">1. 感染予防の対策に関すること2. 感染予防対策実施の監視及び指導に関すること3. 感染予防に係る情報の収集に関すること4. 感染の発生原因及び感染経路の調査に関すること5. その他感染予防に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年34回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 口腔ケアによる肺炎予防・ インフルエンザ・RSウイルス感染症の動向と今冬の来策・ 設備の改善による感染対策・ 医療関連感染症対策～標準予防策・カテーテル類に関連する感染症と対策を含めて～・ アウトブレイク・病棟ラウンド・ 当院における抗菌薬耐性菌対策・ 看護部感染対策リンクナース会活動	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 感染症診療カンファレンスによる抗菌薬耐性菌検出患者・血液培養陽性患者・MRSA感染症治療薬投与患者などの診断・治療・感染対策の検討・ 病棟ラウンドによる感染対策実施状況確認と現場指導・ サーベイランスによる感染症情報の把握とアウトブレイクへの対応	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 27回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療事故防止のための講演会（全職員対象） せん妄の診断と治療 麻薬の管理と現状 医療におけるヒューマンエラーとその対策医療安全への取り組み報告研修会（全職員対象） N I C Uにおける薬剤師の役割静脈注射院内認定看護師育成研修会（計 2 回開催）DVD研修研修医に対するプレローテーション（処方および注射オーダー、注射薬調整）出前研修（医師・看護師対象、部署単位） 心血管イベントの二次予防と医薬品取扱い上の注意点 抗凝固剤・術前中止薬 オピオイド製剤を中心としたがん性疼痛コントロール ステロイド薬の注意点 高濃度カリウムの注射剤について 他	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成（ 有・無 ）業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医薬品の採用・購入に関する事項医薬品の管理に関する事項（麻薬等の管理方法等）患者の持参薬歴情報等の収集方法、処方せんの記載方法患者に対する与薬や服薬指導に関する事項医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備（ 有・無 ）その他の改善のための方策の主な内容：	
(情報収集の方法) <ul style="list-style-type: none">医療安全管理部および医薬安全に係る委員会と連携し、院内で発生するインシデント等の情報収集病院で発生する副作用・感染症情報の把握厚労省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業からの情報提供（口頭、インターネット、書面等）	
(情報の周知方法) <ul style="list-style-type: none">緊急性、重要性、対象により、以下の方法等による周知を図る新採用者または全職員を対象に開催する研修会書面や医療情報システム掲示板を利用した情報提供医師等の個人に直接情報提供	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 5 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 輸液ポンプ・シリンジポンプ、モニタ、除細動器、アンビュ、人工呼吸器、保育器、透析濾過装置、血液浄化装置、人工心肺装置、P C P S、I A B P、高気圧酸素治療装置	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (有・無)保守点検の主な内容： 点検の対象機器及び方法を定めセンターでの定期点検、現場定期点検、使用前点検、使用中点検、使用後点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善の方策の主な内容：	
<p>(情報収集の方法)</p> <p>医療機器の添付文書、取扱説明書の安全使用・保守点検に関する文書を整理し管理する。また、院内で発生する医療機器に関する不都合情報はすべて ME センターに報告してもらい、製造販売会社から適切な対処方法に関して情報提供を求め、医療安全管理部、リスクマネジメント専門委員会と協議協力して、院内へ周知する。また、これら不都合情報のうち適正かつ安全な医療遂行に支障を来すような内容については病院長に報告し、厚生労働省への報告を検討する。</p>	
<p>(情報の周知方法)</p> <p>医療機器の不都合情報・安全情報等は、当該医療機器に直接携わる関係者には口頭、文書で通知し院内には「MEセンター瓦版」、「リスクマネジメント便り」、あるいは医療情報システムを利用して情報提供を行う。</p>	